



親園小だより

和

No.6

令和2年9月25日

親園小学校長 白石 一成

教育目標 自然と文化を愛し、心身ともに健康で知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな児童を育成する。 ○自ら学ぶ子ども ○心豊かな子ども ○心身をきたえる子ども

9月1日避難訓練実施

9月1日に、避難訓練を実施しました。今回は、竜巻を想定した訓練でした。自分が子どもの頃には、竜巻に対する訓練などありませんでしたが、数年前から竜巻を想定した訓練が取り入れられています。先日も、突風で、日光杉並木の杉が折れたというニュースがありました。

写真は2年生です。教室の廊下側に集まり、机の下に避難しているところです。



さて、9月1日は、防災の日です。1923年（大正12年）のこの日、関東大震災が発生しました。死者10万人の大惨事でした。実は、30年前に亡くなった私の祖母は、東京の品川で被災しています。小さい頃、夜寝るときに、震災の恐ろしさを語ってくれました。どうして、生き延びられたかは、寝てしまったせいか覚えていませんが、火災の場面の悲惨さを語った声を今でも覚えています。

在籍する、4年生の一部と3年生は、東日本大震災の年に生まれた子どもたちです。津波などの直接的な被害は受けなかったものの、その後の混乱は、大変でした。私は当時、大田原中学校に勤務していましたが、校舎屋上の貯水槽の崩落のため、授業を西原小学校と県北体育館で行いました。

学校は、安全なところでなければなりません。安心して通える学校、安心して預けられる学校を目指していきます。今後も御協力お願いします。

学習指導員の篠崎先生

新型コロナウイルス感染症対策の一環として、子どもたちの学びの保障をサポートするため、各校に学習指導員が配置されることになりました。人材が確保できず、配置されていない学校がたくさんありますが、教育委員会の御配慮で親園小学校には、いち早く配置していただきました。



子どもたちから話を聞いているかもしれませんが、学習指導員として篠崎文菜さんが9月1日より来てくれています。おもに3・4・5年生の算数の授業のサポートをしています。昼休みなども、「先生遊ぼう」の子どもたちの声に応じて、校庭で一緒に汗を流してくれました。

大学の授業が始まるということで、9月23日が最終日となってしまいました。子どもたちもせっかくなれてきたのに残念がっています。しかし、大学の授業が落ち着く、来年の2月からまた来てくれる予定です。

学習指導員及びスクール・サポート・スタッフの募集

前項で触れた学習指導員とスクール・サポート・スタッフを募集しています。

学習指導員は、右側の写真のように、教員の授業（写真は、4年生数学）を進める手伝をする仕事です。写真では、左上に青木、右上に大沼、左下に学習指導員と3人で授業を進めています。

スクール・サポート・スタッフは、授業以外の教室の消毒や配布物の印刷や登下校の支援等が仕事です。

どちらも時給制で、勤務時間も勤務校との相談で柔軟（午前中のみとか1日2時間とか）に対応できます。正式な申し込みは那須教育事務所ですが、ぜひ親園小学校でやってみたいという場合やお知り合いの方がいましたら、親園小に直接、御連絡（その後、市教委、事務所に報告します。）ください。



授業参観ありがとうございました



9月23日（水）に今年度初めての授業参観を実施しました。コロナウイルス感染症防止のため、変則的な参観でしたが御協力ありがとうございました。保護者の皆様の視線を背中に感じ、子どもたちはいつも以上に頑張っていました。

親園小のホームページを立ち上げます

10月からのホームページ公開にむけて準備中です。保護者の皆様には、バーコードをお配りし、それを用いて閲覧していただく予定です。初めての試みですので、御意見感想等よろしくお願ひします。

子どもたちの様子



○刈り取り間近の田んぼの横を元気に登校する子どもたち



○木曜日のロング昼休みに校庭で元気に遊ぶ子どもたち